

漢方と現代病

6

「心臓」の病気と症状



中国漢方医師
医学博士
侯殿昌先生

1963年中国山東省生まれ。85年中国維坊医学院臨床医療学部卒業。94年東北大学医学部留学。99年同大学院にて医学博士号を取得。専門：難病、がんの漢方治療。現在、国際伝統現代結合腫瘍学会(SIO)会員、日本統合医療学会(JIM)会員、日本東洋医学会会員、日本小児東洋医学会会員。

懐仁堂漢方薬局 福島店

<http://www.kaijindou.com/>

- 住所 福島市万世町2-8 P/有り
- 電話 024-526-2581
- 相談日 【要予約】
毎週月曜日、水曜日
AM10:00~PM6:00
- 営業時間
- 定休日 日曜日、祝日
- 仙台店 ☎022-718-5858
- 山形店 移転準備中

今回は漢方の五臓の最後の一つ「心臓」についてお話しします。

心臓は胸部に位置し、西洋医学でいう血液のポンプ機能のほか、漢方医学では精神・意識・思考などの活動にも関わっていると考え、「心は神明・君主の官」と呼ばれています。また、心臓は夏のように血液循環により身体を温める、五行の「火」に属し、小腸と表裏の関係にあると診ます。

一 漢方の「心」の機能

1 血脈をつかさどる。漢方の「心」は血流だけではなく、同時に脈と血管の動きもつかさどります。心気により血液は血管の中を流れ、全身の血脈の状態を良好に保ち、身体に栄養を送ります。

2 神明をつかさどる。心の血脈をつかさどる機能が正常であれば、精神・意識・思考の活動も正常です。心身愉快・精神安定となり、反応行動も早くなります。

3 顔色に表れる。顔の血管・血流は豊富

で、顔色が良く明るい表情があることで、顔色により心の機能を判断できます。

4 舌に通じる。舌は味覚をつかさどり、舌の動きにより言語・音声を表します。心は経絡を通じて舌とつながっていると診るので、心は「開竅於舌」と言われています。「黄帝内径」に「心気通於舌、心和則舌能知五味」（心気が舌に通じ、心の動きが正常であれば舌が五味を知る）と記されています。

5 心の液は汗。汗は津液から生まれるもので、心がつかさどる血液は津液と同じと考えられるので「汗は心の液」と言われています。それゆえ漢方医学では、熱中症の時に突然倒れたり意識不明になるのは、多量の発汗による脱水と血が神明を養わなくなるため、と診ます。

6 情志は喜ぶ。喜ぶことは心の動きにプラスになります。心気の巡りが良くなり、血脈の流れもスムーズになりますが、大喜びし過ぎると心気が緩んでしまうこと

になります。

二 「心」の病証と症状

1 心の病証：漢方医学の心の症状は、①虚症・心気虚・心血虚・心陽虚・心陰虚など。②実証：心火亢盛・心脈瘀阻・痰迷心竅、痰火擾心など。

2 心虚証の症状：動悸や不整脈、息苦しい、息切れ、顔色蒼白、自汗、寒気、背中の冷えや痛み、不眠、夢多い、めまい、物忘れ、舌の色が白い、寝汗、頬赤いなど。

3 心の実証の症状：顔色が赤い、舌が赤い、舌のコケが黄色、喉の渇き、口内炎、味覚異常、鼻血、煩躁、便秘、尿が黄色、排尿痛、排尿困難、動悸、胸痛、不眠、めまい、独り言など。

もし、病院の検査で異常が無く、対症療法でも前記のような様々な症状が改善されない場合は、ぜひ漢方医学の心臓をはじめ五臓を強める漢方薬の併用をお勧めします。もちろん、狭心症、心房細動、心筋梗塞など心臓の病気も漢方薬の併用は効果的です。